



芸術文化振興基金



<千葉公演>

平成26年 **11月29日** (土)  
千葉県文化会館 小ホール  
開演14時 (開場13時30分)

<東総公演>

平成26年 **11月30日** (日)  
千葉県東総文化会館 小ホール  
開演14時 (開場13時30分)

全席自由 2,000円 学生1,000円

※入場料金は税込み価格となります  
※未就学児の入場はご遠慮ください



# ヤマトタケルと オトタチバナヒメ

見る、知る、伝える千葉  
**創作狂言**

古典の世界に、  
現代夫婦が登場!?



## 第1部 レクチャー&デモンストレーション

すはじかみ  
袴狂言「酢薑」 シテ/酢売り 小笠原 匡  
アド/薑売り 泉 慎也

## 第2部 創作狂言「ヤマトタケルとオトタチバナヒメ」

作・演出/小笠原 匡 制作協力/千葉大学  
小笠原 匡 山本豪一 泉慎也 加藤充華  
若菜の会 千葉大学学生 狂言体験講座受講者

プ  
レ  
イ  
ガ  
イ  
ド

(千葉・東総共通)

インターネット予約 <http://www.cbs.or.jp/>  
千葉県文化会館 043-222-0201  
千葉県東総文化会館 0479-64-2001

(千葉公演)

千葉市文化センター 043-224-8211  
千葉市民会館 043-224-2431  
千葉市若葉文化ホール 043-237-1911  
京葉銀行文化プラザ 043-202-1790  
千葉市男女共同参画センター 043-209-8771  
千葉市美浜文化ホール 043-270-5619

(東総公演)

サンモールインフォメーション 0479-63-9201  
三川屋国道店 0479-63-7181  
三川屋駅前店 0479-63-5681  
ラブシカワ 0479-62-0902  
多田屋八日市場国道店 0479-73-5311  
オワリヤ楽器餃子店 0479-22-0711

【主催】公益財団法人千葉県文化振興財団 / 公益財団法人千葉市文化振興財団

【後援】千葉県 / 千葉県教育委員会 / 千葉市 / 千葉市教育委員会 /  
銚子市教育委員会 / 旭市教育委員会 / 匝瑳市教育委員会

【運営】見る、知る、伝える千葉～創作狂言～運営委員会 【助成】芸術文化振興基金

【協力】ちば文化振興ネットワーク協議会 【チラシデザイン】千葉大学文学部2年 只木琴音



HPからも  
アクセス  
できます!!



facebook  
公益財団法人千葉県文化振興財団 公式ページ  
<http://www.cbs.or.jp/>



第一部	<p>レクチャー&amp; デモンストレーション</p> <p>講師 小笠原 匡</p>	<p>狂言についての知識や演技方法を、実演を交えながら解りやすく説明します。狂言については、歴史、簡素な舞台の意味など、演技方法については、道行き（場面が変わるときに用いる）・擬音（効果音、動物の鳴き声などの表現）・小道具（扇の使い方）など、狂言の独特な約束事をお話しします。</p> <p>今回は特別に会場の皆様と一緒に「笑い」や「泣き」など喜怒哀楽の表現を楽しく体験していただきます。</p>
	<p>すはじかみ 袴狂言「酔薑」</p> <p>シテ 酔売り 小笠原 匡 アド 薑売り 泉 慎也</p>	<p>摂津の国の薑（はじかみ）売りが都に商売に行く途中、和泉の国の酔売りに出会います。お互いにどちらの由緒が正しいか言い争いになりますが優劣がつきません。そこで秀句（駄洒落）を言い合うこととなりますが、やはり決着がつかず、最後には、お互いの秀句の機知を褒め合い和解します。</p> <p>二人の秀句の掛け合いは、現在の漫才に通じるものがあります。</p>
第二部	<p>創作狂言 「ヤマトタケルとオトタチバナヒメ」</p> <p>小笠原 匡、 山本豪一、泉慎也、加藤充華、 若菜の会、千葉大学学生、 狂言体験講座受講者</p> <p>作・演出 小笠原 匡 製作協力 千葉大学</p>	<p>景行天皇の皇子ヤマトタケルが、アヅマの国を征服するために、「内つ海」を渡って房総に行こうとしているのを聞き、竜王と海の仲間たちは、どうするか相談をはじめます。そうとは知らないタケルは、走水に到着。海に向かって悪口を並べ立てるタケルに、海の者たちの怒りが爆発し、よってたかってタケルを踏みつけてしまいました。それを聞き、駆け付けて来たタケルの后オトタチバナヒメは、愛する夫をボコボコにされて怒り心頭。ふがいない夫を叱咤して、仕返しするよう追い立てます。</p> <p>はたしてこの争いの行方は・・・。</p>



作・演出 <sup>おがさわら</sup> <sup>ただし</sup> 小笠原 匡 和泉流狂言師

1965年東京生まれ。初世野村萬（文化功労者・芸術院会員・芸団協会長・人間国宝・能楽協会理事）、故8世野村万蔵、9世野村万蔵に師事。すでに狂言の大曲である「奈須与市語」「三番叟」「釣狐」「金岡」「花子」を抜く。また、新作狂言「鉢かづき」「新千葉笑い」「光源氏」等の作・演出を手がける。さらに、能・狂言・文楽・落語・講談・和太鼓という6つのジャンルのコラボレーションをめざした「風流」を主宰して、「刀こぶ」「良忍さん」「石川五右衛門」等を作・演出する。愛知万博開催記念特別公演「ふるさとの四季」や「平成版・阿国歌舞伎」作・演出・主演。

2005年はNHK大河ドラマ「義経」、2006年はNHK金曜時代劇「出雲の阿国」の芸能指導を担当した。2007年には「狂言と鼓童のコラボレーション・蓬萊貴譚」を作・演出する。2013年秋放送NHK朝の連続テレビ小説「ごちそうさん」でも所作指導を担当。現在、萬狂言関西支部代表、重要無形文化財総合指定保持者（社）日本能楽会会員（公社）能楽協会会員、千葉大学客員教授、桃山学院大学客員教授、和太鼓集団「鼓童」講師。  
ホームページ <http://www.atelier-oga.com/>

## 「見る、知る、伝える千葉～創作狂言～」プロジェクト

古くて新しい伝統文化への取り組み

房総に伝えられてきた民話や伝承をもとに、和泉流狂言師小笠原匡、千葉大学、公益財団法人千葉県文化振興財団、公益財団法人千葉市文化振興財団、市民が新たに創り上げてきた狂言の舞台です。千葉大学、県・市の文化振興財団、NPO法人フォーエヴァーで運営委員会をつくり運営を行っています。これまでに「千葉笑い（千葉市）」「羽衣伝承（千葉市）」「鬼来迎（横芝光町）」「ヤマトタケル伝承（千葉県広域）」「八幡の藪知らず（市川市）」を題材に狂言を創作し、上演してきました。

